



雨・雨からの出前講義

しばらくブログ更新してないことに突然気づきました。10月は両生類爬虫類会議やブロックの園館長会議、ファイトセブン会議など出張が多く、また個人的な祝い事(?)などで浮足立ってたのかもしれませんが、そして、雨!! ブログ未更新の言い訳にはなりません、本当に体育の日以降は最悪の10月でした。土日のたびに雨。それどころか平日も雨。この時期、平日もたくさんの団体客が遠足に訪れるのですが、ほとんどがキャンセル。この10年で一番悪い記録となってしまいました。ようやく今週に入って晴天の日が続き、今日も比較的穏やかな1日となりました。願わくば、続けてくれこの天気、って感じです。

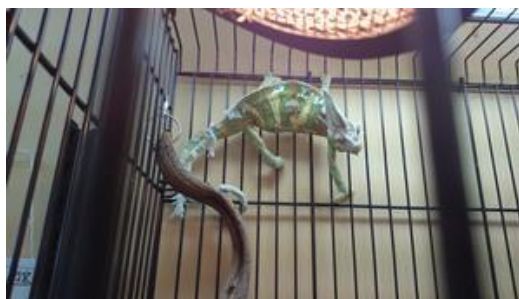


«やっと天気になったね、グミの葉っぱがおいしい»

6月に研修で当園を訪れた埼玉の動物専門学校から、かみねの取組を学生に講義してほしいと話があり、先日、初めて動物専門学校に行って講義をしてきました。この学校は、住宅街の真ん中にあり、教材として飼育している動物たちも教室のなかで飼われていました。朝夕はピグミーゴート(ヤギ)などを散歩させるのですが、最初は近所の人たちも驚いていたようです。しかし今ではすぐそばに動物がいるという事で、子どもたちからも好意的に受け止められているとのことでした。また住宅街なので、音や臭いなどには特に気を付けているようでした。



«ピグミーゴート»

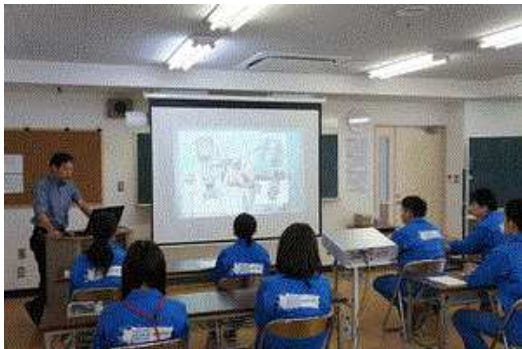


«カメレオン、脱皮中失礼!»



«教室を占める水槽・水槽・・・»

講義の1時間目は「かみね動物園の取組み」。これは結構ほかでもやっているのでもOK。問題は2時間目。学校から与えられたテーマは「社会人としての心得」。ウーンと考え込んでしまいました。人事担当や人材育成の人間ならいざ知らず私のような者に語る資格があるのだろうか。市役所に入る前の全寮制の民間企業では、嫌になって寮を夜逃げ、正確には早朝逃げ（笑）して辞めた私です。でもそんな失敗も糧にして（ないか？）今がある、ということで、上から目線の講義ではなく、社会人になる前のみんなと一緒に考えよう、という時間にしました。まずはみんなが思い描く社会人とはどんなものかをシートに書いてもらうことに。そして、みんなが晴れて動物園の飼育員になったとして、ある問題が起きた場合どう対応するか、という課題を与え、グループごとに話し合って発表してもらう時間にしました。



«写真：埼玉動物海洋専門学校提供»

今回の講義は2年生が対象でしたので、すでに動物園への就職が決まっている人もいればまだ就活中の人もいましたが、身近に迫った問題だけに真剣に話し合い、考えている様子がよくわかりました。日立市でも今年2名の正規職員としての動物飼育員を募集し、すでに試験は終わっていますが78名の応募があり、競争率は一般事務やその他の職種を圧倒し、39倍と高率となりました。この傾向はうちだけではなく、特に公立動物園では多くみられるようですが、動物園が存続する限り飼育員の職場は確保され続けます。狭き門かも知れませんが、これを読んでいる未来の飼育員さんは、一般教養も含めてしっかりと勉強し、自分の夢をかなえる努力をして頂きたいと思います。

社会人になって40年弱の私ですが、社会人を前にした白いキャンバス状態の学生さんたちの考えを聞け、同時に若いエネルギーももらい、楽しい時間を過ごさせてもらいました。



«ミーアキャットがかわいい»

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

平成29年

[平成29年12月](#)

[平成29年11月](#)

[平成29年9月](#)

[平成29年7月](#)

[平成29年5月](#)

[平成29年3月](#)

[平成29年2月](#)

[平成29年1月](#)

[平成28年](#)